

境港市民交流センター（仮称） 管理運営計画検討委員会 資料（第1回）



平成30年 1月29日（月）
境港市民会館大会議室
境港市教育委員会事務局生涯学習課

【経緯】

市民会館ホールの耐震診断

- 平成25年度に耐震診断を実施

Is値* (構造耐震指標) **0.10**



⇒平成25年12月12日～ホール部分使用停止

【Is値 (構造耐震指標)】

$Is < 0.3$	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が <u>高い</u>
$0.3 \leq Is < 0.6$	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が <u>ある</u>
$0.6 \leq Is$	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が <u>低い</u>

【経緯】

市民の意見を聴く会 ・ 意見募集

●市民の意見を聴く会 (H26.2.27)

- ・同規模(約1,100席)の施設が必要
- ・800席くらいが妥当
- ・図書館、美術館、防災機能を有した施設 など

●意見募集 (H26.3.1～3.31)

- ・ホールと図書館の複合施設
- ・防災拠点として避難場所、設備の充実
- ・駐車場スペースの確保 など

⇒「市民の文化・交流の拠点」+「防災拠点」+「その他」=複合施設

(課題) ◆財源:莫大な費用の捻出

◆市民に有益な方向性の検討

【経緯・財源】

補助事業

●防衛省補助事業

まちづくり構想策定支援事業・まちづくり支援事業

★採択の要件(抜粋)

防衛施設が存在するという地域の特徴を活用し、自衛隊員等と防衛施設の周辺地域の住民との文化の交流又は地域における防災等のための活動の促進を企図したまちづくり

★補助率

90%(基本構想、基本計画), **75%**(設計、工事)

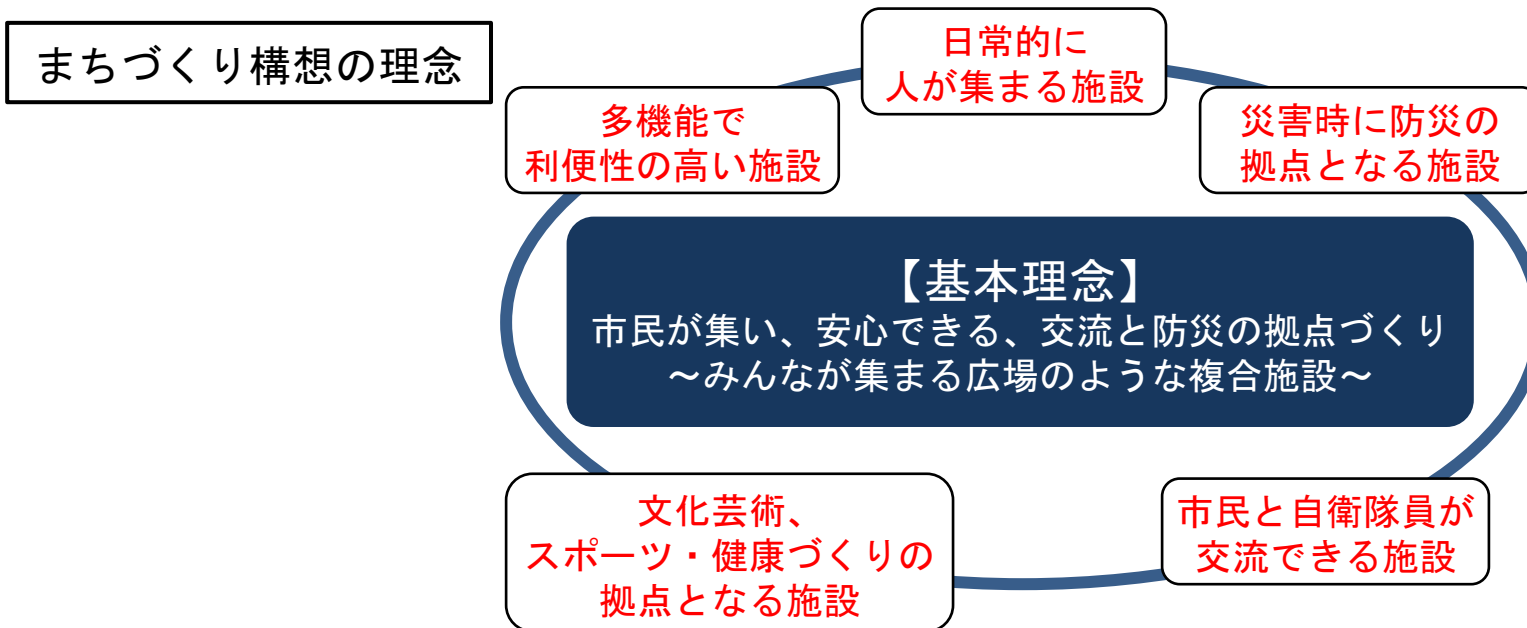
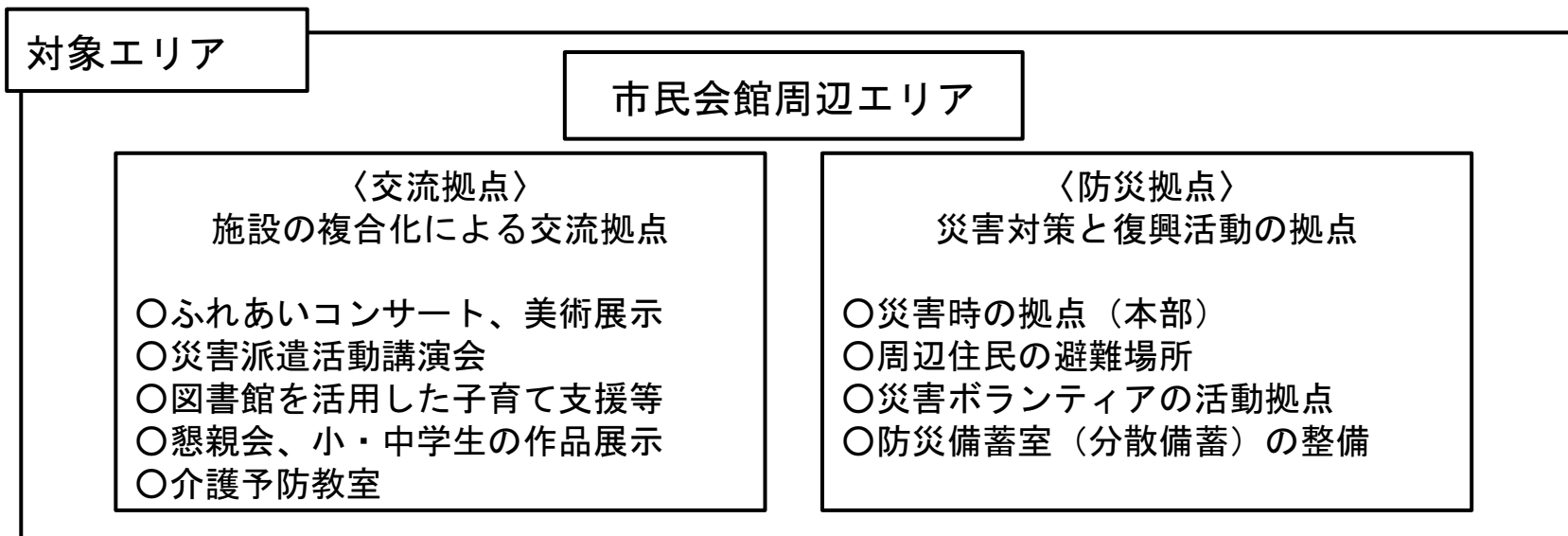
【経緯・方向性の検討】

検討委員会の設置

平成26年度、27年度
平成28年度、検討委員会を
開催し、「基本構想」、
「基本計画」、「基本設計」
を取りまとめました。



美保飛行場周辺まちづくり基本計画（概要）



美保飛行場周辺まちづくり基本計画（概要）

まちづくりの目標

○市民会館周辺エリア

このエリアは、市民会館、市役所、図書館、公園が立地し、市の文化・芸術の拠点であるほか、防災の拠点にもなっています。

しかしながら、これらの施設は老朽化が進み、特に市民会館のホール部分は耐震強度不足により使用できないことから、大規模災害時に備えることが急務となっており、災害対策と復興活動の拠点としても整備します。

①日常的に多くの人が行きかい、集う施設づくり

②災害時の防災拠点となる施設づくり

③文化・芸術の拠点としてふさわしい施設づくり

④市民と自衛隊員との交流拠点となる施設づくり

施設整備計画

■エリアに求められる機能

機能の複合化

交流・防災拠点

文化・芸術拠点

境港市民交流センター（仮称）新築工事基本設計（概要）

計画概要

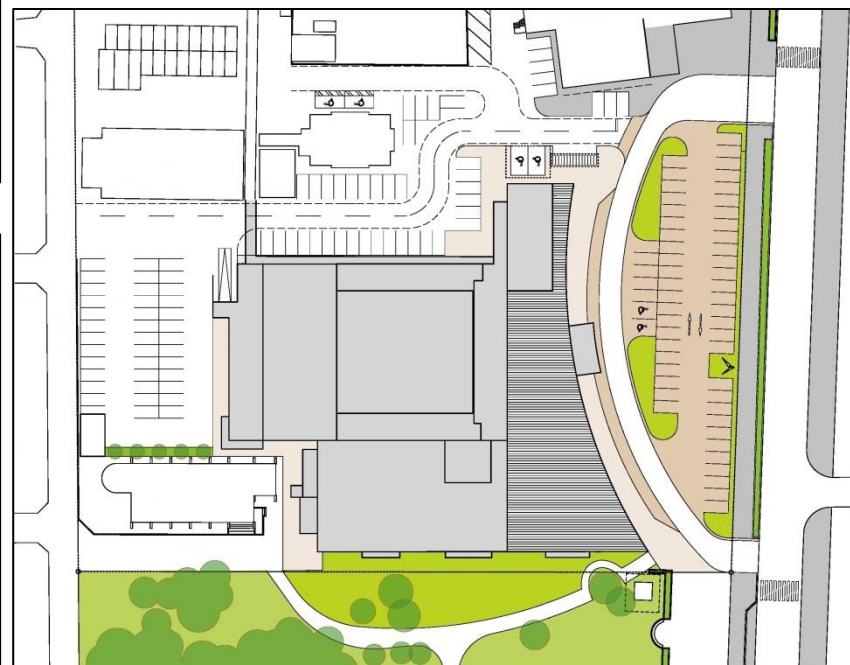
- ・ 階数 地上2階建て（一部3階） 高さ：24.8m
- ・ 構造 ホール：鉄筋コンクリート造 その他：鉄骨造（一部木造）
- ・ 延床面積 6,870m²
- ・ 概算事業費 約44億1,000万円（外構工事含む）

事業スケジュール

- 平成29～30年度：実施設計、管理運営計画策定
- 平成31～33年度：施工業者選定、建築工事着工
- 平成34年度：開館（予定）

施設のコンセプト

- 境港市の文化・芸術の拠点となる施設
- 市民の交流の場、コミュニケーションのステージ
- 市民と自衛隊との交流拠点となる施設
- 賑わいを生み出す「弓ヶ浜広場」の創出
- 地域の防災拠点となる施設
- 境港市の気候風土・自然力を最大限生かした施設



境港市民交流センター（仮称）新築工事基本設計（概要）

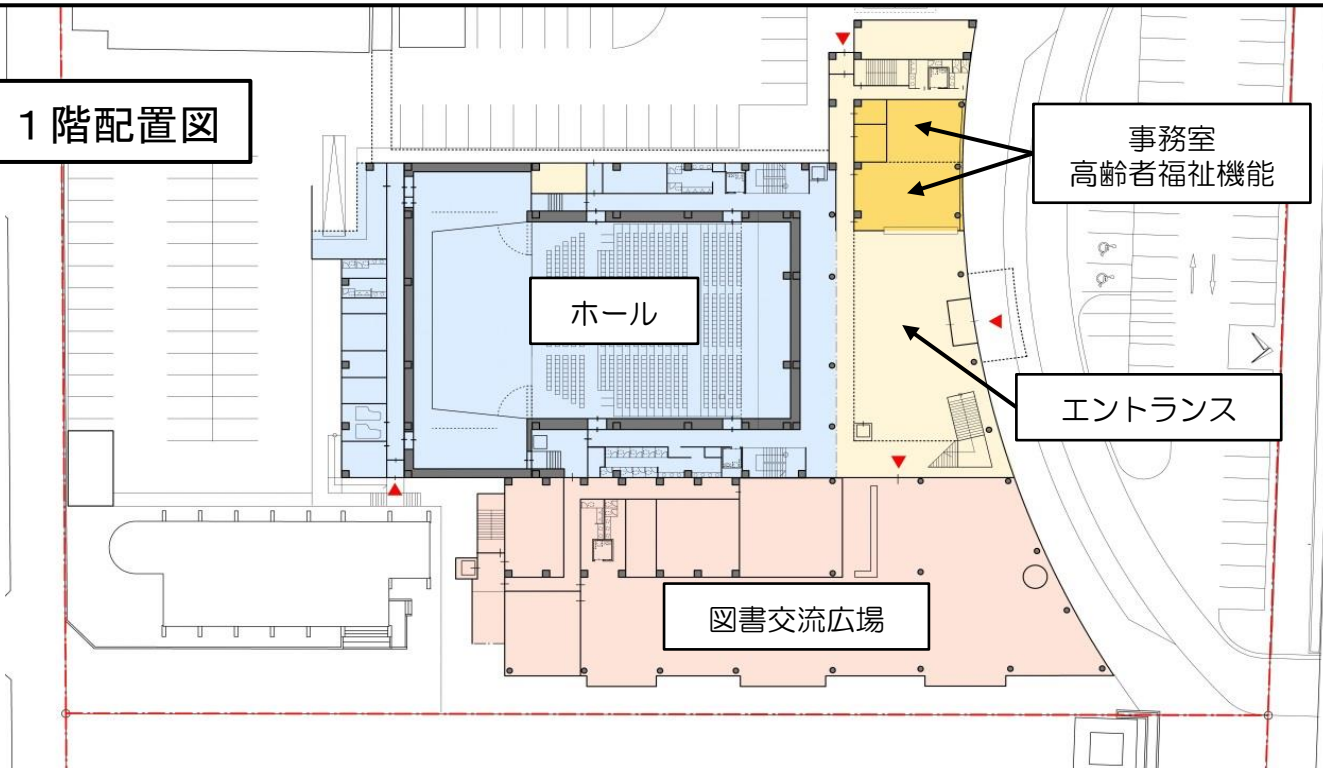
ホール

- ・音楽や演劇など、市民による多様な文化活動や、各種舞台公演の鑑賞に必要な標準レベルのホールとします。
- ・座席数は800席程度とし、その一部を可動席とします。可動席収納時には平土間を600㎡確保し、介護予防教室等の軽運動や展示会、避難所等、多目的に使用できるホールとします。

図書交流広場

- ・絵本や児童書をはじめ、本市の文化・歴史を伝える図書を配架し、読み聞かせコーナーや中学生、高校生の学習室を配置することで、子どもから高齢者まで気軽に立ち寄れる生涯学習・交流・憩いの場とします。
- ・「さかなと鬼太郎のまち境港市」とあるように、本市を代表する「魚」と「妖怪」関連の図書や自衛隊活動への理解を深めるために自衛隊・防災関連の図書も充実させ、本市の特色を学ぶことができる場とします。

1階配置図



境港市民交流センター（仮称）新築工事基本設計（概要）

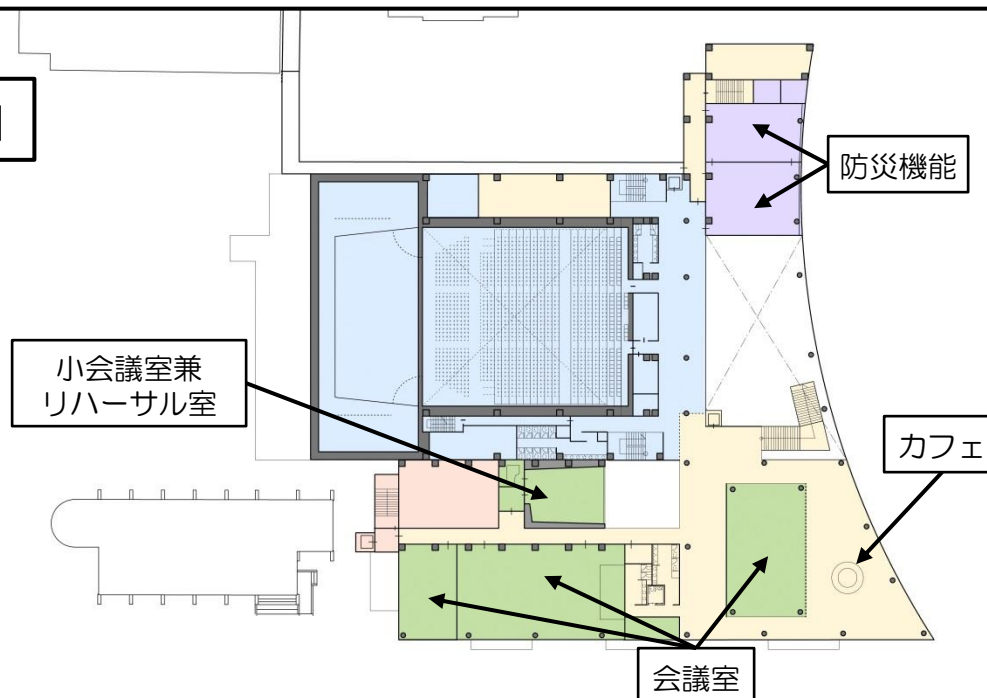
会議室（大・中・小会議室、和室）

- ・さまざまな用途に対応できる大きさの会議室を配置し、複数の会議室を利用した展示会等に対応できるように、会議室を隣接させます。また、各会議室には、スポットライト等、作品展示に必要な設備を備えます。
- ・小会議室兼リハーサル室は、高い遮音性を有しており、会議やリハーサルのほか、小規模な発表会にも利用できます。
- ・各会議室は、利用がないときは、学習室やホールの楽屋として活用します。

その他

- ・高齢者福祉（施設管理含む）
- ・防災拠点
- ・交流（カフェ、エントランス等）

2階配置図

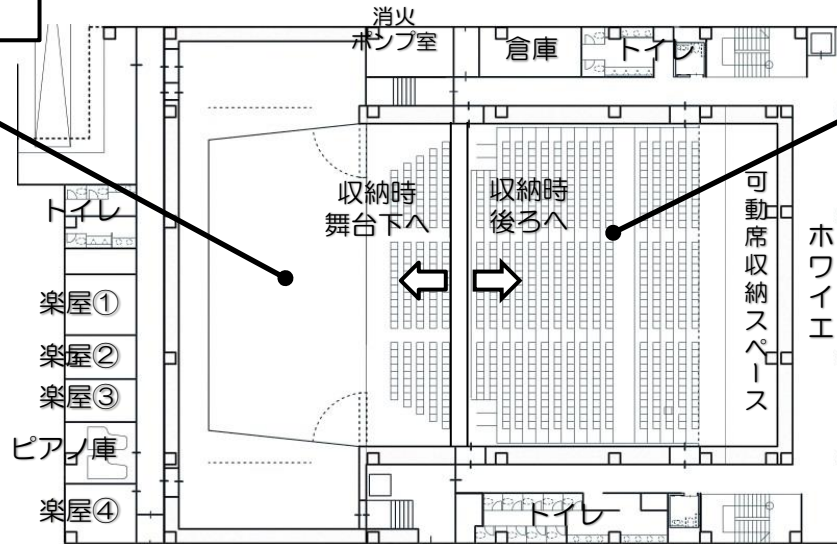


境港市民交流センター（仮称）新築工事基本設計（概要）

ホール平面図（1階）

舞台（500㎡）

音楽や演劇、舞踊など多様な市民文化創造活動や音楽・舞台芸術鑑賞に標準的なレベルで対応できます。



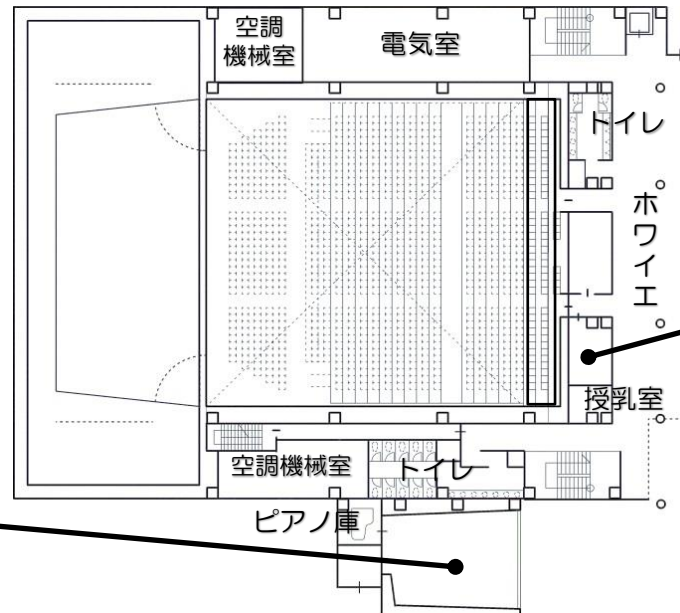
客席（740㎡）

客席の規模は800席程度の「中規模ホール」。可動席収納時には、約600㎡の平土間スペースを確保し、高齢者の軽体操や作品展示、避難所としても活用できます。

ホール平面図（2階）

小会議室兼リハーサル室

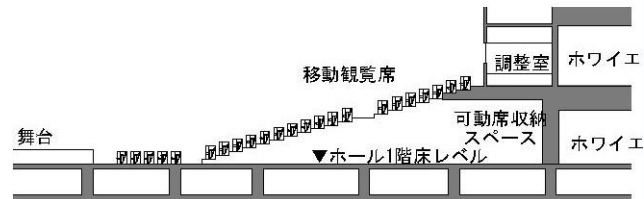
高い遮音性を有したリハーサル室です。様々なジャンルの音楽練習、ダンス、演劇の練習もできます。中庭に面してガラス張りとなっていて明るく快適なリハーサル室です。



親子観覧席

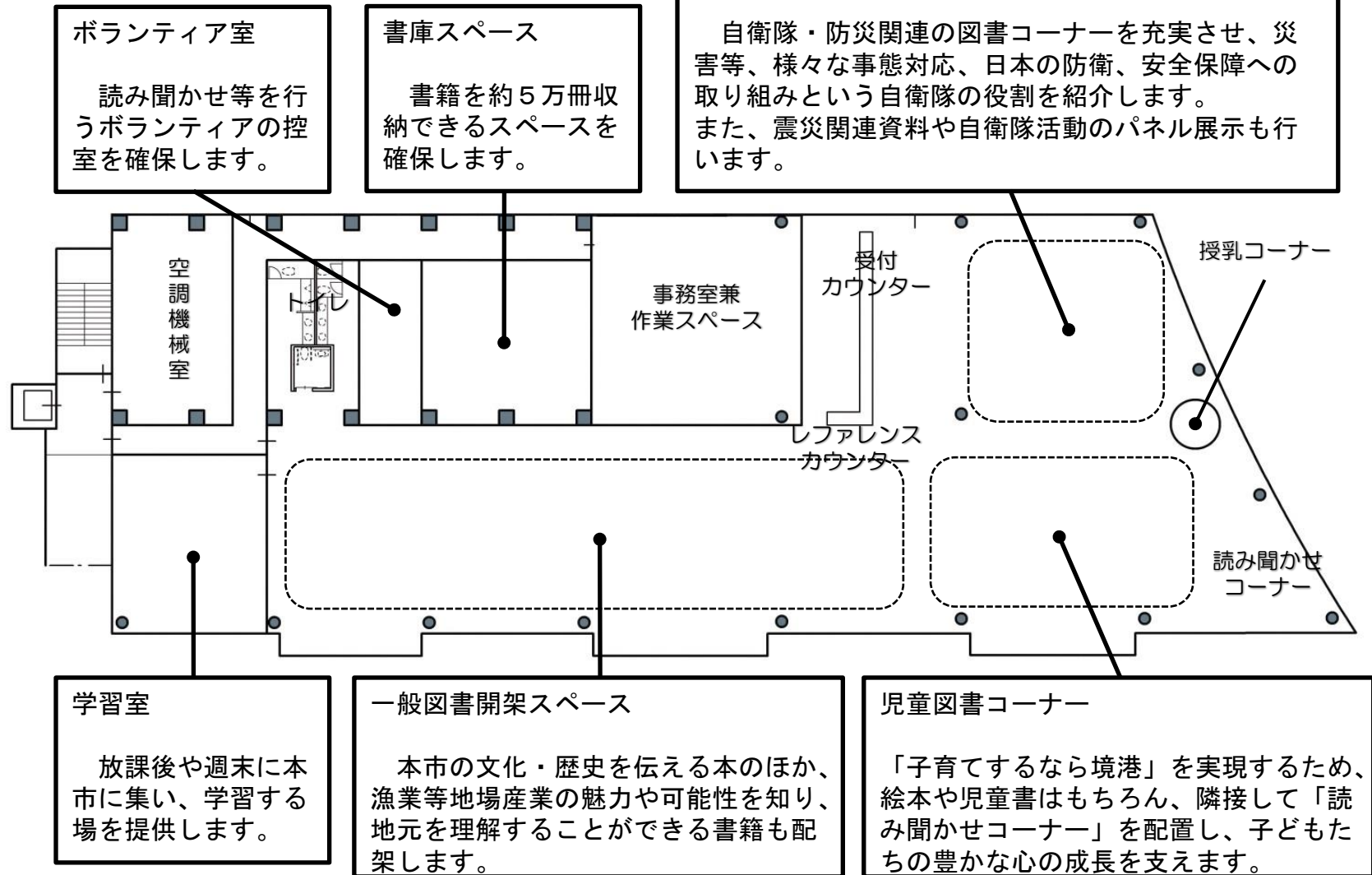
小さいお子様連れの方がゆっくり鑑賞できる部屋です。最大5組の親子が利用できます。

イメージ図（ホール）



境港市民交流センター（仮称）新築工事基本設計（概要）

図書交流広場平面図（1階）



イメージ図（図書交流広場）



境港市民交流センター（仮称）新築工事基本設計（概要）

会議室平面図（2階）

小会議室兼 リハーサル室

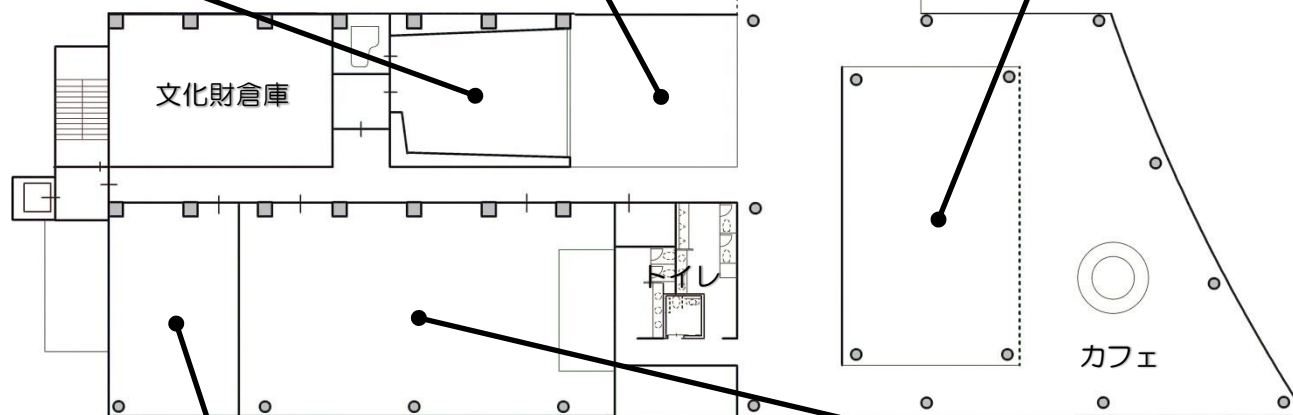
高い遮音性を有し、リハーサル室を兼ねた30人規模の会議に対応できる小会議室です。中庭に面してガラス張りとなっていて明るく快適な会議室です。

中庭

2階会議室エリアの採光のために中庭を設置します。なお、採光用のスペースのため、植栽等はありません。

中会議室

50～80人規模の会議に対応でき、2分割も可能です。カフェ側の壁は可動の展示壁となっており、カフェとの一体利用や展示利用など多目的で交流に役立つ会議室とします。



和室

縁側は公園に面して設けて、障子を通して優しい光を取り入れます。茶会にも対応できるように水屋や炉も設置します。

大会議室

ステージを備えた100人規模の会議に対応できます。また、部屋全体に展示壁を設置し、展示室として利用することもできます。

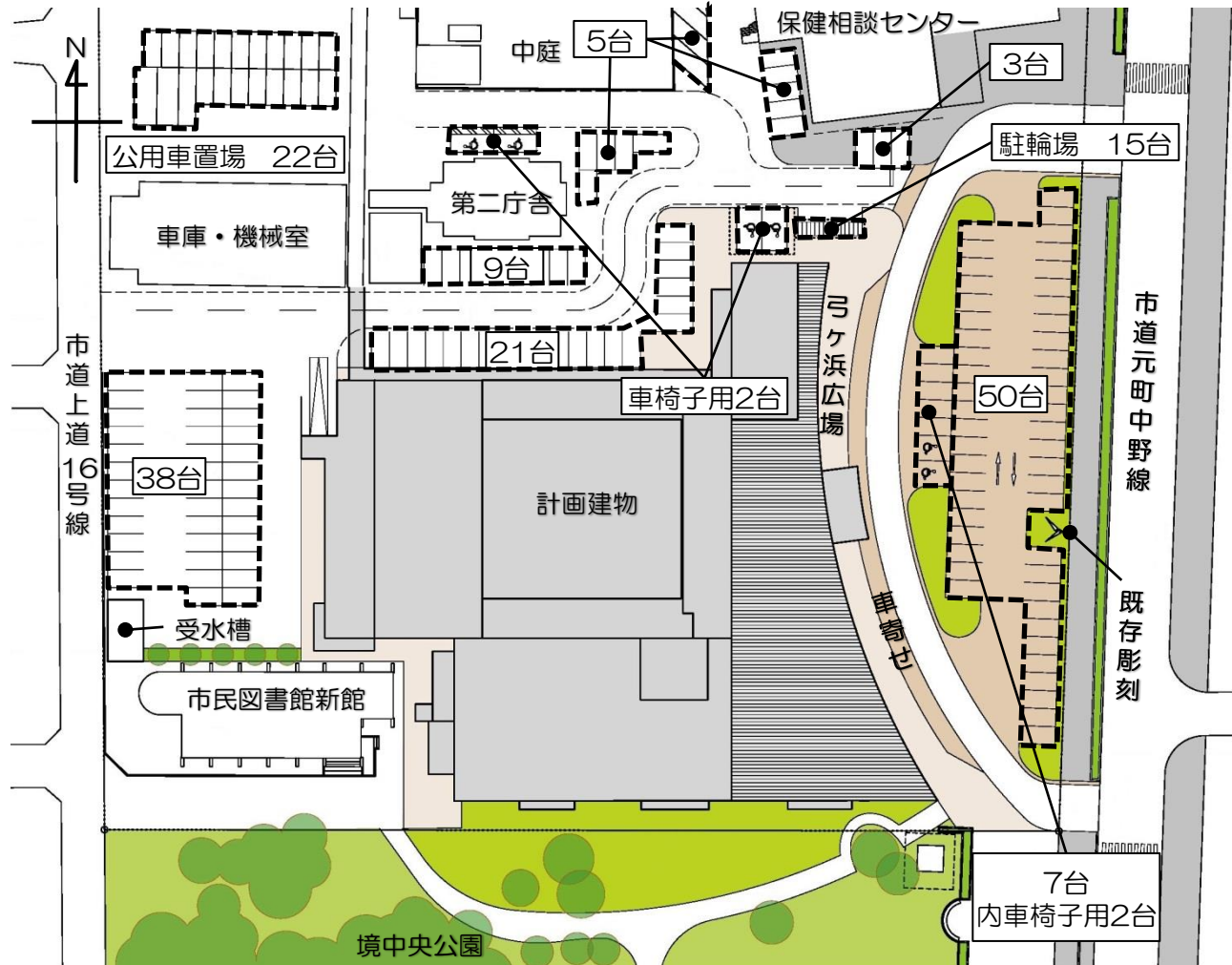
イメージ図（会議室）



境港市民交流センター（仮称）外構

☆駐車場台数の増加

市民会館周辺一般用 91台 ⇒ 147台



管理運営

○基本方針

市民会館周辺エリアの複合施設と竜ヶ山公園周辺エリアの施設については、それぞれの施設の利用方法や利用時間帯なども異なることから、次の事項に留意しながら管理運営にあたります。

また、運営に当たっては、効率的・効果的な設備の導入及び設備機器の運転・制御をきめ細かに調整できるシステムの採用等による経費削減などによって、運営コストの削減を図ります。

1) 交流の促進と施設の稼働率の向上

- ・複合施設の利点を生かし、市民の利用と交流を促進します。

2) 施設の利便性の向上

- ・利用者の視点に立った分かりやすく、使いやすい施設にします。

3) 効率的な管理運営と維持管理費の縮減

- ・複合施設のメリットを生かし、施設の一元的な維持管理を行うとともに、経費の縮減を図ります。

○今後の検討課題

今後、管理運営の基本方針を踏まえて、改めて検討を進め、管理運営計画を策定します。

【検討課題】

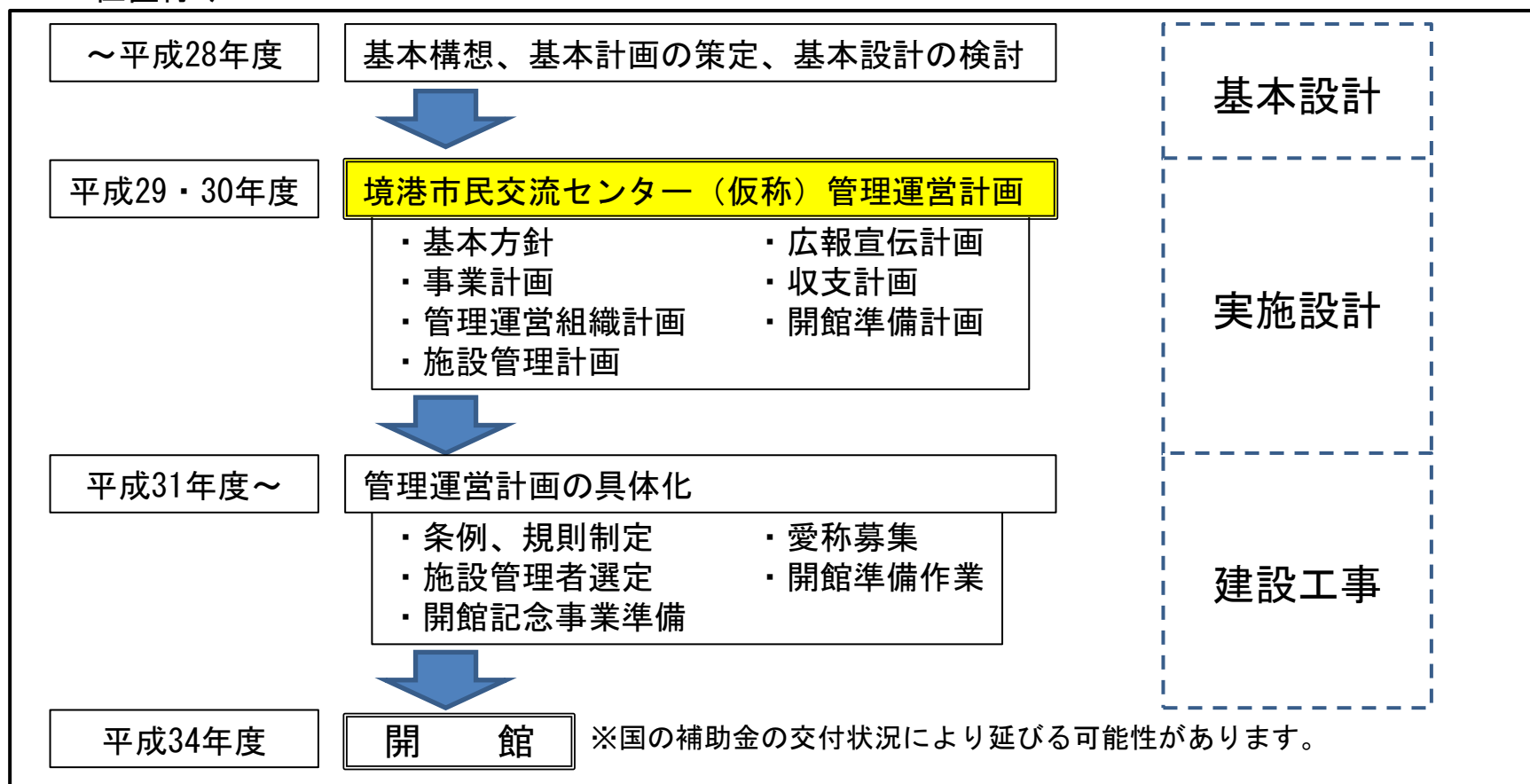
- ・管理形態と管理業務の内容
- ・利用料金の設定
- ・施設の管理運営費の試算 など

境港市民交流センター（仮称）管理運営計画の策定について

1. 趣旨

境港市民交流センター（仮称）は、ホール・音楽、図書交流、会議室、高齢者福祉、防災拠点、交流の様々な機能を有する複合施設であり、「市民が集い、安心できる、交流と防災の拠点づくり～みんなが集まる広場のような複合施設～」の基本理念を達成するため、開館後の施設の管理運営の基本方針を定める管理運営計画を策定する。

2. 位置付け



管理運営計画策定に関する検討課題について

○主な検討課題と視点

管理運営計画を策定するにあたり、管理運営計画を構成する項目と検討する際の視点は以下のとおり。

1. 基本方針

- 【視点】
- ・「協働のまちづくり」による市民参加
 - ・施設の位置付け
 - ・誰もが利用しやすい施設

2. 事業計画

- 【視点】
- ・地域の文化や特性を生かした事業計画
 - ・世代間連携、機能連携による事業計画
 - ・自衛隊員との交流促進を図る事業計画

3. 管理運営組織計画

- 【視点】
- ・効率的な管理、一元管理
 - ・市民ボランティア
 - ・連絡調整、施設プロデュース

4. 施設管理計画

- 【視点】
- ・休館日、開館時間
 - ・使用料金
 - ・災害時の対応

5. 広報宣伝計画

- 【視点】
- ・愛称の募集
 - ・市民への広報
 - ・施設イメージの確立

6. 収支計画

- 【視点】
- ・収支バランスを意識した計画
 - ・必要な予算の確保と自主財源の確保

7. 開館準備計画

- 【視点】
- ・プレイベントの開催
 - ・市民参加の推進